

叶文

—厄除け—

京からかみ 

株式会社 丸二 TEL (075)361-1321

<http://www.maruni-kyoto.co.jp>

e-mail: karakami@maruni-kyoto.co.jp

今も残る数々の文様は、その時代を生きる人々の祈りや願いが託され、少しずつ変化してきました。それら文様には、それぞれ意味を持っています。人々の願いや思いを叶える伝統文様の木製スタンプ。あなたの願いを叶える文様はどれですか？貴方の想いをスタンプに写して、大切な人へお伝え下さい。魔除けに役立つ文様が、貴方や大切な人を守ってくれます。

- ・獅子文 古代ペルシャなどの西域では、ライオンは太陽の力を宿す聖獣として貴ばれていました。それを中国風にアレンジしたものが獅子で、邪気を払う魔除けの意味を持つとされています。獅子を沖縄方言で発音したものが、この文様の“シーサー”です。
- ・五芒星文 互いに交差する長さの等しい五本の線分の図形を図案化したもので、一筆書きが可能な為か世界中で魔術の記号に用いられています。日本では、陰陽道における魔除けの呪符として伝えられ、平安時代の陰陽師“安倍晴明”との関わりの深い文様です。
- ・籠目椿文 椿は冬も緑の葉が枯れることなく艶やかであり、春を告げるように花が咲く事より、古来より呪力を持つ神木とされていました。籠目は、網目が魔除けの印の五芒星に見えることや、正三角形を上下に重ねた形は邪を払うとされ、椿と合わせて災難厄徐に通じるといわれます。
- ・風鈴文 巫女が振る神楽鈴や、神社の拝殿で振り鳴らす鈴には魔除けの霊力があり、同時に清らかな鈴の音には神を招く力があるとされています。風鈴のルーツは中国で、家の四隅に取り付けた鐘の音で邪気を払い、吉凶を占う“風鐸”と呼ばれたものでした。
- ・揚柳文 中国から渡来した柳は日本でも神霊が宿る木とされ、その生命力の強さからも魔除けの霊力を待たれて、様々な儀礼・行事に用いられてきました。燕は軒下などで巣作りし、周囲の蚊や蠅などの害虫を食べてくれることから、病気を遠ざけるとされています。

*お取り扱いについて

ご使用前に、スタンプ面を濡れタオル等で少し湿らせてから御使用下さい。インクの馴染みが良くなります。水性インクを使用しています。使用後は早めに布等で拭き取り水洗い下さい。木製スタンプは欠け易く、硬いブラシやネットのスポンジ等で擦ったりすると破損の原因となります。又、お子様が口に入れない様に気を付けて保管して下さい。その他ご不明な点がございましたら、販売店又は当社までお問い合わせ下さい。

素材／ 朴の木（ウレタン塗装）